

日本赤十字社神奈川県支部に器材搬送用トラックを寄贈

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、昭和60年に当協会を設立以来今日まで、29年間にわたり社会貢献活動の一環として、日本赤十字社神奈川県支部に対し、血液運搬車等延べ28台の車両を寄贈してきたところですが、この度は災害現場で活用できる器材搬送用トラックを寄贈いたしました。

1. 寄贈月日	平成25年11月5日（火）
2. 寄贈場所	神奈川県ライトセンター
3. 寄贈車両	器材搬送用トラック
4. 寄贈先	日本赤十字社神奈川県支部

5. 概要 日本赤十字社神奈川県支部に対しては、その業務の重要性に鑑み、長年にわたって血液運搬用車両を寄贈してきたところですが、同支部では、東日本大震災での救護支援活動を契機として、日本赤十字社の本来業務への各種整備が急務となり、前年度の通信司令車に続いて器材搬送用トラックが必要であるとしていたことから、この度の寄贈に至ったものです。

寄贈式では、伊坂会長から「東日本大震災を教訓として、こうした実際の救護活動の現場において活用できる器材搬送用トラックをご提供できますことは、大変光栄なことです。

これまで遊技場業界全体で灯し続けてきた『社会貢献の灯』は決して消すことのないように、また、単なる寄付団体ではなく、少しでも社会に役立つことのできる社会貢献団体としての活動を続けてまいります。」とのあいさつを行うとともに、同支部近藤晶一事務局長にレプリカキーを手渡しました。

これに対し、近藤事務局長からは、日本赤十字社社長感謝状が贈呈され、これまでの数々の支援に対して、お礼を述べられました。

表彰式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞、タウンニュースでも紹介されました。

寄贈の器材搬送用トラック



日本赤十字社社長感謝状受贈

